



輝く女性のひとつのかたち 飯野 由美子 さん



▲アジア大会で思いを共にした仲間と。

PROFILE

いいの ゆみこ(白羽区・37)
小学校教員。趣味スノーボードなどアク
ティブなスポーツが好き。剣道は、幼少
の頃から学び4段の腕前を持つ。

日本選手権を制覇

平成27年度のドラゴンボート日本選手権を制覇し、平成28年3月、オーストラリアで開催されたアジア大会に出場したチーム「海猿火組」。このチームの一員に市内在住の飯野由美子さんの姿があった。ドラゴンボートとの出会いは、東京での教員時代に務めていた小学校で、保護者が交流を深めようと結成したチームに誘われて入ったことがきっかけ。楽しもうと始めたドラゴンボートも、チームが同じ目標に向かい一丸となったことで、取り組む気持ちも次第に熱くなっていった。

原動力の秘密

飯野さんは、小学校の教員という職業でありながら市消防団女性隊に所属するなどいろいろな顔を持つ。教員生活について「大変なこともあるが、やりがいもたくさんある。学生時代の思い出は楽しいことばかりだったので昔から「学校」というものが好き。それも教員になった理由。教え子と1年を過ごしたときに、みんながこの仲間であって良かった。

「と思えるようにしたい」と話し、人とのつながりを大切にしている様子がうかがえた。消防団女性隊は入団2年目。地区の運動会や祭典など、地域での活動にも積極的に参加している。「とにかく人と交流することが好き。会話の中でその人が持っている価値観から気づくことがある。自分の知識や経験になるから自ら交流しようとするんですかね」と笑顔で話す飯野さん。

やっぱり御前崎が好き

静岡県の教員試験を受け直して東京から帰ってきてしまったほど御前崎が大好きな飯野さん。御前崎の良さは何かと聞くと「人がいい! 豊かでおいしい地場産品! 自然に恵まれている!」など多くの魅力がさっと口から出た。飯野さんの心には、いつも人とながらいたいという思いがある。「もし、教員とは別の道を歩むのなら、多くの人が集まり、交流する場所を作りたい」と夢を語ってくれた。輝いている女性のひとつのかたちを見ることができた気がする。今後の彼女の活躍に期待したい。